

訪問ガイド **2026**

パリ水族館

パリ · から 22€

https://aquariumdeparis.visit-tickets.com/ja/・優先入場チケット & 料金



歴史 & エクスペリエンス

起源 & 歴史

帝国のキャリアから海へ

GOOGLE 3.9 ★★★★☆ 20 083 レビュー

TIQETS 4.3 ★★★★☆ 4 050 レビュー

トロカデロの庭園の下では、暗闇の中で魅惑的な物語が展開されている。 1878年に万国博覧会のために建設されたこの施設は、世界初の水族館という歴史的な称号を保持しています。 トロカデロ水族館として知られていたこの施設は、海洋や淡水の深層への初の没入体験を来訪者に提供し、技術がそのような浸没を可能にするずっと前から、パリの人々の想像力を刺激しました。 その水没する運命に先立って、この地下の場所は、あまり輝かしいものではないが、それでもなお魅惑的な秘密を秘めていた。 何世紀にもわたって掘削されてきた古い採石場は、ナポレオンの騎兵隊の宿営地として利用された。 天然の湿度と、わらと動物の糞の混合物が、この場所で<強>パリのキノコ（エノキタケ）の栽培を促進し、これらの坑道は数十年にわたって真の地下農場へと変貌しました。 エジューン・コンバズによって設計された元の建築は、自然の洞窟を模倣しており、ギャラリーの柱の間にセメントでできた岩飾りが配置されていた。 1937年の展示のために近代化されたものの、老朽化により1985年に閉館した。 2006年の劇的な再オープンにより、この唯一無二の場所に再び命が吹き込まれ、シャイヨー丘の下に複雑な生態系を維持できる最新の技術が導入されました。 今日、パリ水族館は単なる海洋動物園ではもはやありません。 これは、パリにおける都市の歴史を生き生きと証言するものであり、採石場の記憶が現代科学と対話している。 各訪問者は、都市の奥深くへと降りていき、パリが忘れ去られた地下空間を「生」の神殿へと変貌させた過程を発見する。それは、首都の産業的・農業的な過去と現在の文化的使命を結びつけるものである。

体験

入口の敷居を跨ぐと、雰囲気が劇的に変わります。 日没とともに光は次第に薄れ、青みがかった半暗闇が広がり、没入感を高めてくれる。 もう表面ではなく、時間が止まったかのような並行世界の中にいる。 配管を流れる水音だけが響く相対的な静寂は、まさに絶対的な安らぎを生み出し、すぐ上のアルベ・ド・モン通りの喧騒と強いコントラストを成している。 下層階層へ降りていく際、線形な導線により迷いを防ぐ設計が施されています。 汚れのない窓ガラスは、目の前でゆっくりと漂う生きものの優しさを映し出している。 クラゲの催眠的な緩やかな動きや、サメの静かな威厳を眺めることには、深く安らぐものがある。 この感覚的な体験は、大規模な観光アトラクションの喧騒とはかけ離れ、足元で再現された広大な海洋の壮大さの前に自分が小さく感じられる、純粋な瞑想のひとときを提供してくれる。



訪問の準備

実用的な情報

住所

16区・メトロ：Trocadéro（6号線、9号線）または Pont d'Iéna（9号線）、Jardins du Trocadéro出口。

開館時間

毎日9時30分から19時まで開館しています。土曜日は夜間営業があり21時まで開館します（最終入場は20時）。

料金

大人料金は約24.50ユーロ、子供は17ユーロです。3歳未満は無料です。現在のプロモーションをご確認ください。

所要時間

3,500平方メートルの地下空間をゆっくり巡るには1時間30分から2時間ほどかかります。特にクラゲや大水槽を観察する時間を確保してください。

写真撮影

全コースでフラッシュなしでの写真撮影が可能です。ガラスに傷をつける可能性のある大きなバッグは避けてください。必要に応じて、個人物品はクロークにお預けください。

対象者

歩ける4歳以上のお子様におすすめです。大人の方は、特に2006年に再オープンした旧採石場の歴史や科学的な側面を楽しめます。

アクセス方法

アクセス & 交通手段

メトロ / **RER**

: ウィルソン大統領通り - シャイヨー宮殿 — 3 min à pied

サン・ラザール駅 (13 min) · モンパルナス駅 (14 min)

バス

: 現代美術館 - トーキョー宮殿 — 4 min à pied

サン・ラザール駅 (20 min) · モンパルナス駅 (21 min)

車

サン・ラザール駅 (13 min) · モンパルナス駅 (14 min)

Vélib / 自転車

サン・ラザール駅 (16 min) · モンパルナス駅 (17 min)

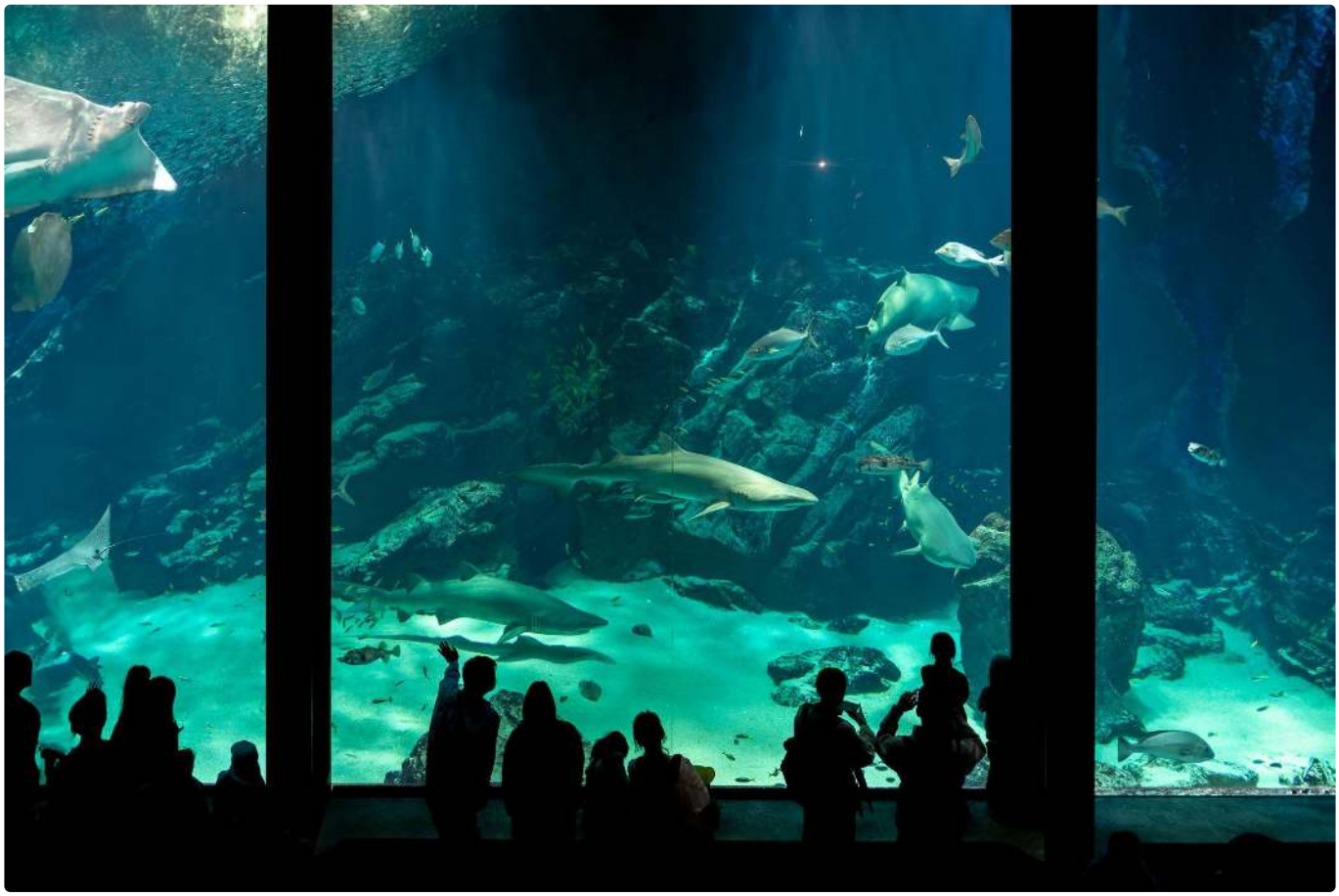
LOCALISATION

Où se trouve パリ水族館 ?



📍 5 Avenue Albert de Mun — 75016 パリ

🌐 48°51.733′ N, 2°17.460′ E



組織

地下回廊を理解する

0階（1階）

ここから冒険が始まります。トロカデロ庭園の中心に位置するこの場所では、受付ホールでオーディオガイドを受け取り、コースマップを確認できます。最初の展示室には淡水生物が紹介されており、海洋ゾーンへの下りへ向かうための穏やかな移行を提供します。

地下メインフロア

エクスペリエンスの中心は、改装された旧採石場にあります。ここでは、300万リットルの大型水槽でサメとエイが数千匹のイワシと共に暮らしている姿を見ることができます。また、有名なメドゥーザリウム（クラゲ展示区）もここにあります。

メディエーション・スペース＆シネマ

主要な展示ルートを経て、海洋生物学についてさらに学ぶための教育的空間が設けられています。シネマルームでは深海をテーマにした没入型映画が上映され、タッチプールでは子どもたちがコイに直接触れることができます。このインタラクティブな体験で訪問は締めくくられます。

アクセシビリティ

♿ 車椅子アクセス

アクセスは容易ですが、地下階への階段があります。スロープの状態をご確認ください。

👨‍👩‍👧 ファミリー向け

4歳以上の子どもがいるご家族に最適です。インタラクティブで教育的なコースをご用意しています。

🎧 オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



必見スポット

選択

イマージョンの必見スポット

01 水母に特化したスペース

メドゥーザリウム

2019年に開館したこの施設は、ヨーロッパ最大の水母展示として知られています。24の水槽に45種が飼育されており、幻想的な雰囲気が漂っています。パステルカラーの生物たちが薄暗い水中を漂い、息を呑むような視覚的スペクタクルを提供しています。

> 💡 各種の健康状態を保つため、展示はローテーション制で行われており、水槽内の構成は定期的に変わります。

02 メイン水槽

大インド太平洋水槽

300万リットルのこの水槽は、訪問のハイライトです。マンタレイ、ゼブラシャーク、そしてサバの群れが、精密な技術によって維持される複雑な生態系を形成しています。ガラス製トンネルからは、目に見えない障壁なしに捕食者を間近で観察できます。

> 💡 この水槽の管理には、適切な塩分濃度を維持するために年間100トンの塩が必要です。

03 インタラクティブスペース

タクティル・バスイン

家族にとって特別なひととき。コイや柔らかな無脊椎動物に触れることができます。子どもたちが海洋生物の質感や行動を理解するための理想的な機会です。このスペースは安全に設計されており、科学解説員によるサポートが受けられます。

> 💡 使用されるコイは、特に従順さと人間の操作に対する耐性のために厳選されています。

04 CODEX URBANUS キマイラのギャラリー

コデックス・ウルバヌスの壁

2017年、ストリートアーティストは水族館の壁に水生キマイラの図鑑を描き上げた。この現代芸術的介入は、旧採石場のコンクリート構造と対話している。色彩豊かなフレスコ画が、科学的な見学の道程に夢のような次元を加えている。

> 💡 この作品は「幻想的な水中の法典」と題され、建物の素地の壁面に直接制作された。

05

歴史セクション

淡水魚の部屋

1878年のアクアリウムの起源に敬意を表し、このセクションではナマズや卵胎生魚などの淡水種を紹介しています。初期の施設にはまだ海水魚が含まれていなかったことを思い出させます。雰囲気はより明るく、熱帯の川を連想させます。

> 💡 ここにいる一部の個体は、1878年の万国博覧会の初期コレクションから直接受け継がれたものです。

06

中央通路

海底トンネル

大きな水槽を横切るガラス張りの回廊で、訪問者はまさに水中を歩行できます。大型のサメが頭上すぐを通過する際のめまいは本物です。この施設で最も人気のある写真スポットの一つです。

> 💡 メタクリル製ガラスに掛かる圧力は、かなりの衝撃に耐えられるよう計算されています。

07

礁池

珊瑚空间

这里是珊瑚礁的忠实再现，栖息着小丑鱼、鳗鱼和裸鳃类。鲜艳的色彩与水族馆其余部分主导的蓝色调形成鲜明对比。该区域展示了温暖海洋丰富的生物多样性。

> 💡 所使用的仿制珊瑚旨在完美模仿天然珊瑚的多孔性而制造。

08

シネマ

没入型シネマルーム

曲面スクリーンによる高解像度上映により、アクアリウムを離れずに深海や極地へと没入できます。完全なドキュメンタリー映画は、水槽での観察に物語的な深みをもたらします。水面へ戻る前の心地よい休憩時間です。

> 💡 空間オーディオシステムが、海の声に囲まれているような錯覚を生み出します。

アドバイス

降下を適切に準備する

タイミング

9時30分からの早朝に訪れ、より落ち着いた雰囲気を楽しみ、特にメドゥーザリウムを妨げ物なしで撮影したい場合は、混雑を避けましょう。

チケット

プロモーション料金（最大20%割引）の適用と入場確約のため、特にハイシーズンや週末には必ずオンラインで予約してください。

見学ルート

指定された直線コースに従い、寄り道はしないでください。このルートは、淡水水槽から大水槽などの海洋のハイライトスポットへ自然に導くよう最適化されています。

写真

メドゥーザの流れるような動きを捉えるには、固定写真ではなく動画モードを使用してください。フラッシュは禁止されているため、デバイスの明るさを手動で調整してください。

休憩

入場前に食事を済ませるか、上階にあるレストランの利用をお勧めします。採石場内にはファストフードの選択肢が限られているためです。

子ども

快適な靴を用意し、ガラスに傷をつける可能性のある大きなバッグは避けてください。触れる水槽は、小さな子どもたちの注意を引きつける絶好の瞬間です。

オーディオガイド

オーディオガイドはフランス語、英語、スペイン語で利用可能であり、特にメドゥザリウムにおいて、種の生物学的特性を理解するために非常に役立ちます。

快適さ

地下では温度が一定でやや涼しく保たれています。暑い日の屋外から来られる場合は、薄手のジャケットをお持ちください。必要に応じてバリアフリー対応（車椅子利用可能）を確認してください。



よくある質問

よくある質問

事前に予約すべきですか？

ハイシーズン（7月/8月）や週末には、時間帯を確保するために事前予約が強く推奨されます。休暇期間外の平日は直接アクセス可能ですが、待ち時間が発生する場合があります。オンライン予約は入場を確実にし、行列を避けるのに役立ちます。

キャンセルはいつまで可能ですか？

キャンセル条件は選択したプランによって異なり、支払い前に表示されます。よくお読みになった後、確認前に日付と時間帯を確認してください。一部のプランは返金不可です。

現在プロモーションはありますか？

グループやオンライン購入チケットには割引が提供されることがあります。公式サイトで「Promotions」セクションをチェックしてください。オンラインでの事前購入は、窓口購入と比較して通常最もお得な料金です。

現地で購入できますか？

はい、受付で直接販売しています。ただし、夏のような混雑期には、Jardins du Trocadéro前の行列を避けるために事前予約をお勧めします。枠には限りがあります。

見学にはどのくらい時間がかかりますか？

完全な発見のために1時間30分から2時間を予定してください。3,500平方メートルの直線コースは自分のペースで進められ、特に45種の展示があるメドゥザリウムでは時間をかけて観察しやすいです。

ご存知ですか？

エピソード＆トリビア

ナポレオンの遺産

魚を飼育するようになるずっと以前、これらのギャラリーは帝国の騎兵隊を収容していました。採石場の湿った環境の中で、わらと馬糞が混ざり合い、パリマッシュルームの栽培に最適な条件を生み出し、この場所を19世紀における主要な地下農業生産拠点へと変えました。

歴史的な世界記録

1878年に建設されたトロカデロ水族館は、公式に世界初の水族館でした。現在では他の施設も存在しますが、この施設は万国博覧会での開館日によりこの歴史的称号を保持しており、公共のアクアリウム時代の幕開けを象徴しています。

波の下にある都市芸術

2017年、アーティストのCodex Urbanusは採石場の荒々しい壁面に巨大なフレスコ画を描いた。この作品は水棲キマイラを題材にストリートアートと海洋生物学を融合させ、訪問者の科学的体験にシュルレアリスム的な物語の層を加えている。

シャークとの泳ぎ

2012年11月、スイマーのピエール・フロラは大型水槽で25頭のシャークと一緒に泳いだ。このメディアイベントは、しばしば誤解されているこれらの捕食者の保護について一般の人々の意識を高めることを目的としており、敬意をもって共存すれば人間と海洋生物の共存が可能であることを示した。

博物館周辺

水族館の立地は戦略的であり、トロカデロ庭園の中に位置しています。 訪問の前か後、エッフェル塔の絶景をぜひお楽しみください。わずか数百メートルの距離から眺めることができます。 これらの風景庭園は、日差しの中でランチ休憩をとったり、ロマンチックな散歩を楽しんだりするのに最適な環境を提供します。 近くにあるクイ・ブランリー＝ジャック・シラク美術館は、一日の締めくくりとして完璧な文化的補完性を提供します。 洗練されたディナーには、近隣にあるカフェ・ド・パリが伝統的なフランス料理を提供しており、16区という象徴的な地区の探索を美しく締めくくれます。



パリ水族館を出ると、トロカデロの光に向かって上りながら、見えないものに触れたような感覚に包まれます。この場所は、パリの石畳の下にはまだ千もの宝が隠されていることを思い出させてくれます。クラゲの魔法のために来たのか、採石場の歴史に興味があったのかを問わず、この没入体験は貴重な思い出として深く刻み込まれるでしょう。これらの繊細でありながら力強い存在たちの姿、すなわち卓越した都市遺産の静かな証人たちのイメージを胸に抱いて、旅路を続けましょう。